

課題番号3

| 基本方針：Ⅲ | 課題名：担い手の育成のための農地マネジメントの推進 | |
|-----------------------------|----------------------------------|---|
| 対象：市町村、担い手 | 計画期間：R 6～8 | |
| | 事務所名：中部農林振興事務所 | |
| 普及指導事項 | 活動内容 | 活動成果（計画当初→R 7年度末） |
| 認定新規就農者および認定農業者規模拡大のための農地検索 | 新規就農、規模拡大の相談対応 農地中間管理事業を通じた貸借 | 【担い手への農地集積の推進】 認定新規就農者への農地転貸件数 2件 → 累計7件 認定農業者への農地転貸支援件数 2件 → 累計1件（12月末現在） |
| 夏秋ナス、小麦の生産向上 （広陵町百済川向地区） | 夏秋ナス講習会 夏秋ナス巡回 小麦巡回指導 | 【特定農業振興ゾーンでの生産額の増加】 夏秋ナス、小麦地区生産額（R5年比） （広陵百済川向） 466万円 → +252%（ナスのみ） |
| 営農組織の法人化 （広陵町百済川向地区） | 集落営農組合との打合せ | 法人の設立（広陵百済川向） 0組織 → 法人化の必要性について理解 |
| イチゴ栽培面積の増加 （広陵町寺戸地区） | 新規就農者の誘導および既存農業者の規模拡大支援 | イチゴ栽培面積（広陵町寺戸） 0.83ha → 1.13ha |
| 設定要望確認と新たな候補地区の探索 | 市町村との打合せ | 【特定農業振興ゾーンの設定推進】 新規設定地区数 0地区 → 候補地区選定 |

| |
|---|
| 総合評価（コメント） |
| <p>A：6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 集落営農の法人化が現場において本当に良いのかどうか、も判断しながら進めていっていただきたい。一時的な解決策で終わらないために、担い手の育成、若年層の担い手増加には引き続き取り組んでいただきたい。 ■ 地道に活動を続ければ意欲のある新規就農者も増加すると思う。引き続き、活動に期待している。 ■ プロジェクトの目標を着実に達成している。来年度プロジェクト終了後には「特定農業振興ゾーン」のモデル事例として外部公表が出来るのではないかな。 ■ 今後、振興ゾーンの先進モデル地区になっていける様、生産者・所得が増えるよう普及して行ってください。 ■ 普及活動の結果、地区全体に必要性が周知されて、農地集積が推進されたという報告が印象的だった。残された課題も、地域の合意形成を図り前進させていただきたい。 ■ 市町村と連携することの重要性がよくわかる報告なので、こうした取り組みを各地で更に進めてほしいと感じました。 |

| |
|---|
| 普及指導計画への反映状況等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 法人化については、基盤整備での事業要件及び地元でも必要と考えているため、今後も生産者や市町村と連携しながら進めて参ります。 ■ 特定農業振興ゾーンについては、生産額の増大を目指して重点的に支援を継続し、他地域への波及効果を狙います。 ■ 市町村と更なる連携を図りつつ、地域の合意形成と併せた担い手への農地集積を一層進めて参ります。 |